

# YOKO HAMMA



よこはま市工連 No.90  
Yokohama Shikouren



QRコード読み取り

## 目次

令和6年度 横浜市工業会連合会役員の紹介 .....	1
令和6年度 横浜市工業会連合会 事業計画 .....	3
地域工業会 新会長へのインタビュー .....	5
「テクニカルショウヨコハマ 2024」 .....	6
令和6年度(第37回)新入社員合同研修 .....	7
令和5年度 新入社員フォローアップ研修 .....	12
令和6年度 横浜市予算に対する産業振興に関する要望についての回答 .....	13
地域工業会 事務局紹介 .....	15
市工連からのお知らせ .....	16
横浜市経済局からのお知らせ .....	17
協賛企業広告 .....	18

### 発刊日

令和6年7月31日

### 編集・発行

一般社団法人横浜市工業会連合会

〒231-0023 横浜市中区山下町2番地

産業貿易センタービル2階

TEL. 045-671-7051

FAX. 045-671-7321

URL : [www.y-shikouren.or.jp](http://www.y-shikouren.or.jp)

### デザイン・印刷

有限会社双葉印刷所

令和6年度

# 横浜市工業会連合会役員紹介

令和6年6月24日（月）ローズホテル横浜において、令和6年度第1回理事会・定時総会、第2回理事会が開催されました。令和5年度の事業報告・決算報告に加え、今期からの理事及び監事の選任、各委員会委員の決定などの議案がすべて承認されました。理事会の終了後には、退任された理事に加藤会長より記念品が贈呈されました。

その後、会場を替えて役員懇親会を開催し、新旧メンバー間で交流を図りました。



## 令和6年度 横浜市工業会連合会 役員名簿

役職名	氏名	工業会・役職	事業所・役職
会長	加藤 卓郎	みなと工業会 会長	株式会社加藤組鉄工所 代表取締役会長
副会長	黒田 憲一	戸塚泉栄工業会 会長	大洋建設株式会社 代表取締役社長
〃	寺嶋 之朗	鶴見区工業会 会長	プリンス電機株式会社 代表取締役会長
〃	稲村 直之	港南区工業会 会長	有限会社稲村建具 代表取締役
〃	長谷川 浩正	磯子事業会 会長	日興テクノス株式会社 代表取締役社長
〃	桐ヶ谷 修幸	神奈川工業会 会長	株式会社桐ヶ谷工業所 代表取締役
理事	山本 耕司	南事業会 会長	株式会社マック 代表取締役社長
〃	平 藤 圭吉	一般社団法人横浜北工業会 副会長	三吉工業株式会社 代表取締役
〃	工藤 圭亮	横浜西部工業会 副会長	昭和建設株式会社 代表取締役
〃	横山 雅行	一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会 会長	平和産業運輸株式会社 代表取締役
〃	増田 孝一	横浜市金沢団地協同組合 理事	岡谷セイケン株式会社 代表取締役社長
〃	鈴木 瑞貴	横浜青年経営者会 会長	株式会社オースズ 代表取締役
〃	工藤 哲史		横浜市経済局長
専務理事	見上 正一		一般社団法人横浜市工業会連合会
監事	猪鼻 久義		猪鼻会計事務所
〃	松村 洋一	一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会 副会長	協立金属工業株式会社 相談役

## 令和6年度 横浜市工業会連合会委員会名簿

委員会	役職	氏名	会社名	会社役職
総務委員会	委員長	黒田 憲一	大洋建設株式会社	代表取締役社長
	副委員長	小山 大輔	日本保安工業株式会社	代表取締役
	委員	和田 晃	東洋電装株式会社	代表取締役会長
	〃	勝木 洋平	古河電気工業株式会社 横浜事業所	総務課長
	〃	山本 耕司	株式会社マック	代表取締役社長
	〃	成澤 宏	医療法人社団成澤会 清水橋クリニック	事務局長
	〃	栗原 敏郎	株式会社大協製作所	代表取締役会長
	〃	内藤 隆行	横浜セレモ株式会社	常務取締役
	〃	大瀬 雅博	大瀬工業株式会社	代表取締役社長
	〃	武居 正則	株式会社武居商店	代表取締役会長
	〃	椿 雄太	株式会社互省製作所	代表取締役
	〃	田島 圭一	株式会社田島精研	代表取締役

委員会	役職	氏名	会社名	会社役職
政策委員会	委員長	稲村直之	有限会社稲村建具	代表取締役
	副委員長	伊藤知之	日本貿易印刷株式会社	取締役会長
	委員	松尾文明	株式会社松尾工務店	代表取締役会長CEO
	〃	田中秀一	メルビック電工株式会社	取締役
	〃	花本高志	株式会社ダイイチ	取締役社長
	〃	岡部郁子	岡部産業株式会社	取締役副社長
	〃	達知剛志	株式会社プレスビット	代表取締役
	〃	鈴木孝敏	日鉄工営株式会社	代表取締役
	〃	安田訓	株式会社IHI 横浜事業所	総務部長
	〃	真鍋緑朗	アールグラット株式会社	代表取締役
	〃	梶田兼一	株式会社カジタ	代表取締役社長
	〃	安永平雄	イチコーエンジニアリング株式会社	代表取締役会長(兼)CEO
	〃	高橋正徳	ヤマセ精機株式会社	代表取締役社長
事業・企画委員会	委員長	長谷川浩正	日興テクノス株式会社	代表取締役社長
	副委員長	向井一馬	三和化成工業株式会社	代表取締役社長
	委員	千葉護	株式会社京南	代表取締役
	〃	平出晴久	ゴールドデン文具株式会社	代表取締役
	〃	山口喜久雄	株式会社ヤマグチレッカー	代表取締役
	〃	浦野富士夫	株式会社セレバル	取締役
	〃	江藤忠勝	有限会社龍昇堂	代表取締役
	〃	柳沼芳光	株式会社柳沼建設	代表取締役
	〃	横山雅行	平和産業運輸株式会社	代表取締役
	〃	平雅吉	三吉工業株式会社	代表取締役
	〃	金子一彦	三宝精機工業株式会社	代表取締役社長
	〃	中山貴義	社会保険労務士事務所 古間屋	代表
	広報・産学委員会	委員長	桐ヶ谷修幸	株式会社桐ヶ谷工業所
副委員長		山本公彦	株式会社丸屋神奈川製作所	代表取締役
委員		磯崎洋人	神奈川トヨタ自動車株式会社	渉外広報部理事
〃		関曙慶	曙建設株式会社	会長
〃		菊地純恵	大坪工業株式会社	代表取締役社長
〃		橋爪重信	新倅機材株式会社	代表取締役
〃		杉山大輔	株式会社三興ネーム	代表取締役
〃		宮裕之	東京ガス株式会社 根岸LNG基地	総務部長
〃		穴倉澄人	株式会社シシクラ	取締役社長
〃		大村直樹	横浜鉄工株式会社	代表取締役社長
〃		田中大成	ティエスエス株式会社	代表取締役
〃		今津太郎	阿蘇工業株式会社	代表取締役社長
〃		南川拓也	株式会社ミナミ技研	代表取締役
雇用・環境委員会	委員長	寺嶋之朗	プリンス電機株式会社	代表取締役会長
	副委員長	久保田耕二	久保田建設株式会社	代表取締役
	委員	石井一登	石井建設工業株式会社	代表取締役社長
	〃	小島誠太	日産自動車株式会社	担当部長
	〃	金子亨	日栄建設株式会社	代表取締役
	〃	湯川正純	株式会社ヘルツ	代表取締役
	〃	坂本保	株式会社坂本興業	常務取締役
	〃	日野原技	株式会社村山製作所	代表取締役
	〃	黒岩勉	株式会社羽後鍍金	代表取締役社長
	〃	藤枝慎治	株式会社グリーン	代表取締役会長
	〃	加藤豊	第一カーボン株式会社	代表取締役
	〃	小西将史	株式会社ブリヂストン 横浜工場	総務部長
	〃	河上洋平	株式会社中越工業	代表取締役社長
施策検討会	委員	小林真一	小林商工株式会社	代表取締役
	〃	佐藤正憲	株式会社高木	代表取締役
	〃	高橋幸夫	かちどき特許事務所	所長
	〃	高木康志	高木特許事務所	所長
	〃	高野一哉	有限会社高野塗装	代表取締役
	〃	黒田裕太郎	港南テクノクス株式会社	代表取締役
	〃	梗間政幸	シナノ紙工株式会社	代表取締役
	〃	工藤圭亮	昭和建設株式会社	代表取締役
	〃	田口真弘	株式会社金剛コルメット	総務部次長
	〃	児玉聖司	株式会社ワン・ツー・ストック	代表取締役
	〃	増田孝一	岡谷セイケン株式会社	代表取締役社長
	〃	加藤亮	株式会社ホープ	代表取締役
	〃	加藤高智	有限会社工研	代表取締役
	〃	西端望	一般社団法人LTRコンサルティングパートナーズ	中小企業診断士
	〃	鈴木瑞貴	株式会社オースズ	代表取締役



# 令和6年度 横浜市工業会連合会 事業計画

横浜市工業会連合会（市工連）では、令和6年度（2024）、「Ⅰ ものづくり活性化事業」、「Ⅱ 産業振興施設の管理運営」、「Ⅲ 市工連及び地域工業会の活性化」、「Ⅳ 法人運営（法人会計）」の4つの柱で事業を進めます。

## Ⅰ ものづくり活性化事業 【26,918千円】

### 1 販路拡大事業

神奈川県下を対象にした大型商談会の開催のほか、受発注情報の整備・充実を図り販路拡大を促進し、第46回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2025」では、成長産業分野の振興や小規模企業の需要開拓など機能充実を図ります。

#### (1) 商談会等の開催

（公財）神奈川産業振興センター等に協力し、受発注商談会を開催します。

ア 受発注商談会 「オール神奈川」（後援）  
開催予定

イ 受発注商談会 「テクニカルショウヨコハマ2025」に合わせて開催  
開催方法：リアル

#### (2) 工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2025」の開催

（公財）神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により工業技術見本市を開催します。

開催日：令和7年2月5日（水）～7日（金）  
開催方法：リアル及びオンライン

#### (3) 横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

※ネットワークプラスとは

市工連ホームページにおいて、事業内容・製造能力・技術等に関する登録会員企業のPRをし、発注企業や研究機関等が登録企業を業種別・加工種別・キーワード別に検索・閲覧できるシステムです。

#### (4) 横浜市との事業連携

横浜市が経済成長戦略として進めるAI・

IoTをはじめ健康・医療、GXなど、新たな社会課題に対応する産学官民連携のシステムなど、オープンイノベーションの支援施策について、会員への周知等、横浜市と連携して事業を推進します。

### 2 ものづくり人材育成支援事業

#### (1) 新入社員合同研修

マナー研修のほか、「帆船日本丸」での甲板みがき、マスト登り、漕艇等の訓練を取り入れた合同研修で、チャレンジ精神や協調性を養成し、企業の将来を託せる人材を育成します。

日程：令和6年4月4日（木）～5日（金）

会場：帆船日本丸及び同訓練センター

#### (2) 新入社員等フォローアップ研修・交流会

今年度入社された新入社員や中途採用で入社された方など、入社2年目までの若手社員を対象にして、会社の戦力として活躍する人材育成と、参加者の同世代ネットワークの形成を支援します。

#### (3) 就職に関する懇談会の開催

県立高校等の進路指導担当教員と市内中小企業の経営者や採用担当者等を対象に、横浜市及び公共職業安定所との共催で、企業の採用情報や生徒の就職状況等の情報交換（懇談会）を開催します。

日時：令和6年6月11日（火）14：00

会場：横浜産貿ホール マリネリア

#### (4) ものづくりの魅力伝える事業

ア 出前講座の開催

経営者や技術者が、高校生・大学生や職業訓練生に対し、中小企業の仕事ややりがいについて講演します。

イ 工場見学会の開催

就職指導教員と高校生・職業訓練生等を対象に、市内中小企業の工場見学会を開催します。

ウ ものづくり企業の魅力発見研修の開催

神奈川県立産業技術短期大学の学生を対象に、中小企業経営者の講演等を実施します。

エ 高校生採用に使用する企業PR動画の作成  
高校生採用に積極的な企業が企業PR動画を作成する補助をします。

#### (5) 技術者育成支援事業

中小製造業の礎となる人材育成、社内の技術力向上、技術承継の推進のため、従業員の技能資格取得に対して、受検等にかかる費用を助成します。

#### (6) 多様な人材活用の支援

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、女性、高齢者、外国人などの多様な人材の活用に関する情報提供を実施します。

#### (7) 横浜市就職サポートセンター事業への協力

若者層等の就職支援として、横浜市が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」インターンシッププログラムの周知に協力します。

#### (8) 中小企業の人材確保支援事業

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、横浜市経済局等と連携して事業を推進します。

## II 産業振興施設の管理運営

**[82,998千円]**

### 1 試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トリアルステージ）事業

同スペースで新製品の開発や新規事業分野への参入を図る中小製造業を支援します。

- ・所在地：横浜市金沢区鳥浜町16-6
- ・施設内容：全5区画（1,265㎡）

### 2 横浜産貿ホール(マリネリア)の管理・運営事業

横浜産貿ホールを管理・運営し、産業と貿易に関する見本市や展示会などの開催の場を提供することで、県・市内の産業の発展を支援していきます。

- ・所在地：横浜市中区山下町2番地  
産業貿易センタービル
- ・施設内容：1F 展示場（1,630㎡）  
2F 小展示室（70㎡）

## III 市工連及び地域工業会等の活性化の取組み

**[12,999千円]**

### 1 5つの委員会を設け、各種事業を検討・実施

- 総務委員会
- 政策委員会
- 事業・企画委員会
- 広報・産学委員会
- 雇用・環境委員会

### 2 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

#### 3 基盤整備事業

##### (1) 横浜市等と当連合会との施策検討会の運営

##### (2) 「令和7年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」を策定・提出

#### 4 すぐれたアイデア提案者表彰

会員企業における、技術開発、生産性の向上、経費節減等において「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を顕彰します。

#### 5 会員企業等のネットワークの活性化

##### (1) 会員企業間の情報交換の場の創出

##### (2) 各委員会の交流の活性化

#### 6 情報発信事業

##### (1) インターネットの活用

ホームページ、メールマガジン等でタイムリーに情報提供します。

##### (2) 機関誌等の発行

ア 機関誌「よこはま市工連」を年2回発行し、各種情報提供と会員の交流を図ります。

イ 情報紙「市工連かわらばん」を年6回発行し、各種事業について周知を図ります。

#### 7 会員サービス事業

「災害共済」などの各種福利厚生事業を実施するとともに、市工連独自のPL保険への加入を促進します。また、団体割引等の取りまとめなどを実施します。

#### 8 周年事業

横浜市工業会連合会設立40周年を記念して式典・祝賀会、功労者表彰、記念誌作成を実施します。

## IV 法人運営（法人会計）

**[4,945千円]**

総会・理事会の開催などにより、市工連を運営します。

# 地域工業会 新会長へのインタビュー

横浜青年経営者会 会長 鈴木瑞貴 様  
(株式会社オースズ 代表取締役)

## 経営者としての在り方



今期より横浜青年経営者会（以下青経会）の会長を拝命いたしました株式会社オースズの鈴木です。港北区で機構部品の製造を行っております。父である先代が創業し54年目、私が経営を引き継いでからは12年目になります。経営者として

意識していることは「求められる企業であり続ける」こと。客先はもとより、協力企業や自社の社員など、様々な立場のステークホルダーから見て、替えの効かない存在を目指しています。

当社が機構部品の中でも、特にニッチかつ専門性の高い「トルクヒンジ」という製品に注力している理由もそこにあります。この限られたフィールドの中では替えの効かないトップランナーであることを堅守すべく、今後も技術や製法の独自性を高めてまいります。

## 青経会の会長になったの抱負

青経会の今期スローガンは「自らを変革し、主体的に進化する」です。もともと当会は前向きで高い向上心を持ったメンバーが多く、皆変革や進化することを楽しいと感じる感性を持っています。会にはメンバーの進化を促す起爆剤の様な役割が求められていると思うので、定例イベントなどではそこを強く意識したいと考えています。会で得られる刺激の質が、参加者の満足度向上や今後の会員増強にも繋がっていくと思います。当会の学びに対して貪欲な姿勢は、諸先輩方から引き継がれてきた特徴的な会風だと思うので大切にしていきたいです。

## 大切にしている余暇の時間

休日はゆっくり過ごすことが多いですが、6年ほど前に横浜マラソンに魅せられてからランニングが趣味になりました。正確には走った後のビールと焼肉が趣味なのかも知れませんが(笑)。毎年1回のフルマラソンを目標に、週末走る習慣もついて健康増進と共に良いストレス発散にもなっています。

## NHK「魔改造の夜」への出演が残したもの

今年の2月と3月にNHKの技術系エンタメ番組「魔改造の夜」に出演させて頂きました。与え

られた難課題を技術とアイデアで克服し、1ヶ月半でモンスターマシンを完成させるという、文字通り悪魔のような企画ですが、全社員45名中20名がメンバーに加わり、本業そっちのけの全力投球で臨みました。対戦相手があのパナソニックさんと東京工業大学さんであったことも闘争心に火を付けました。ものづくりの最前線で戦う町工場の底力を見せてやるという思いでした。

2種類の競技のうち1つは技術部のエースをリーダーに、もう1つは同部の若手ホープをリーダーに立てました。通常の製品開発とは全く異なるスピード感とプロセスで進めなくてはならず、何度も大きな壁に阻まれましたが、その度にメンバーが主体的に動いて助け合い、危機を乗り越えました。普段プレス作業に従事するパートさんがプログラムを書いたり、機械加工や組立ラインの従事者が木材でコースを作ったり、専門外でもお構いなしの協力体制が自然に生まれたことは嬉しい驚きでした。当初2チーム各10名に分けていた編成も、終盤には正にワンチームで全員が汗を流し、これまでにない一体感が大きな力を生んでいました。ジャイアントキリングを達成した時は、最高のチームに恵まれたことに感謝するとともに、今までやってきたことが間違っていなかったんだという実感が目頭が熱くなりました。

放送後の反響は予想もしていなかったほど大きく、既存の関係先からの反応だけでなく、ホームページがダウンするほどのアクセスを頂いたり、番組を見て当社で働きたいという応募が来たり、ありがたいことに強い追い風を感じる事ができています。

自社の力試しをするはずだった魔改造のチャレンジで、本当に魔改造されたのは我々自身だったのかも知れないと思う今日この頃です。





# 「テクニカルショウヨコハマ2024」

2月7日（水）～9日（金）までの3日間、パシフィコ横浜展示ホールで「技術がつながる新たな時代」をテーマに、最先端の技術・製品が一堂に会する、首都圏最大級の工業技術・製品に関する総合見本市「テクニカルショウヨコハマ2024」が開催されました。

807社（昨年759社）の企業・団体が出展し、18,176名（昨年15,827名）の来場者があり、出展者数、来場者数ともに前回は上回り大いに賑わっていました。

会場内で最大のスペースの「横浜ものづくりゾーン」には、市工連会員企業の方も多く出展していただきました。



**次回は令和7年2月5日（水）～7日（金）開催**

## ●開催概要

- 【会 期】 リアル展示：令和6年2月7日（水）～9日（金）  
Webサイト内展示：令和6年1月15日（月）～2月16日（金）
- 【会 場】 リアル展示：パシフィコ横浜展示ホールA・B・C  
Webサイト内展示：公式ホームページ
- 【開催規模】 807社・団体（リアル800社、Webサイト7社）（前年度：759社・団体）

## ●来場者数

- 【リアル展示】 18,176名
- 【Webサイト内展示】 アクセス数 6,581名  
ページビュー数 759,853名

## ●アンケート結果

### 1 満足度について

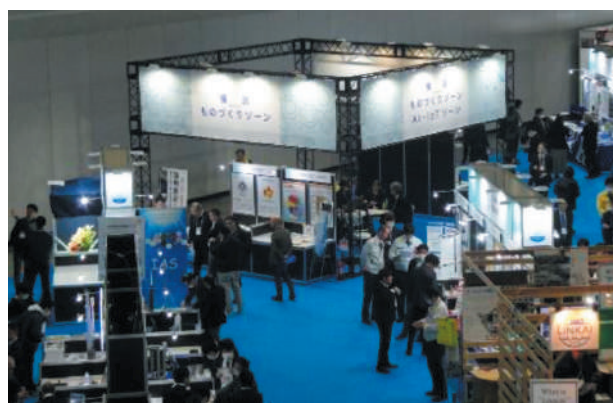
	リアル展示	オンライン展示
満足	34.5%	21.8%
やや満足	36.0%	21.8%
普通	21.8%	53.1%
やや不満	7.1%	2.6%
不満	0.6%	0.7%

### 2 出展成果について

	リアル展示	オンライン展示
期待以上の成果があった	8.0%	0.8%
成果があった	33.7%	3.1%
多少成果があった	48.8%	19.2%
成果がなかった	5.2%	27.7%
わからない	4.3%	49.2%

### 3 引合いについて

	リアル展示	オンライン展示
引合い・問合せがあった	87.0%	11.0%
引合い・問合せはなかった	13.0%	89.0%



横浜ものづくりゾーン



テクニカルショウヨコハマ会場の様子

# 令和6年度(第37回)新入社員合同研修

今回で37回目を迎える市工連主催の「新入社員合同研修」。帆船日本丸の海洋教室の訓練を含む合同研修によってチャレンジ精神や協調性を養い、企業の将来を託せる人材を育成することを目的として、4月4日(木)～5日(金)に開催されました。

昨年より1泊2日の研修が行えるようになりました。

今回は18歳から24歳までの8社34名(男性30名、女性4名)が参加。研修では、講義やグループワークでビジネスマナーを学ぶとともに、ロールプレイで電話応対や役割を決めての報連相を行いました。夕食前には日本丸に宿泊するための居室準備(ボンク(ベット)メイク)を二人一組で行い、夕食後にも講義を行いました。

また、「帆船日本丸」の海洋教室として、日本丸のビデオ鑑賞や船長の講話を聴くとともに、朝の甲板磨き、マスト登り(登檣：とうしょう)訓練、船首渡り(バウスプリット)訓練、ロープ結び(結索)

訓練に参加しました。マスト登りでは、ヘルメットやハーネスを装着し安全にも十分配慮し実施しました。また、ここ数年行われなかったカッター訓練を行うことができ、カッター訓練の体験がとても良かったという感想が多くみられました。

この研修は、受講生の皆さんや参加企業様の満足度の高い研修ですので、来年度も是非ご参加ください。参加企業様のアンケートをご覧ください。(11頁)



## <研修カリキュラム>

《第1日目》 4月4日(木)	午 前	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 開講式(加藤市工連会長他の挨拶)</li> <li>* マナー研修(講義、グループワーク、ロールプレイ)</li> </ul>
	午 後	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 船内見学/日本丸のビデオ鑑賞</li> <li>* 登檣訓練(マスト登り)、バウスプリット(船首渡り)</li> <li>* 居室準備(ベットメイク)/避難訓練</li> </ul>
	夕食後	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 電話応対(自分の声を聞き、電話の話し方を学ぶ)</li> </ul>
《第2日目》 4月5日(金)	午 前	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 甲板磨き</li> <li>* 船長の講義「社会人として最低限守るべきこと」</li> <li>* 報連相(講義、グループワーク、ロールプレイ)</li> </ul>
	午 後	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 結索訓練、カッター訓練</li> <li>* 感想文作成、口頭発表会</li> <li>* 閉講式・認定書授与</li> </ul>



## 新入社員合同研修を受講して

(会社名等：50音順)

海洋電子工業株式会社

(横浜市金沢団地協同組合)

岡 未優菜さん

新入社員合同研修の2日間を終えて、新入社員として心がけることや仕事をする上で必要なことなど、多くの事を学んだと実感する。私がこの研修で印象に残ったことは3つある。

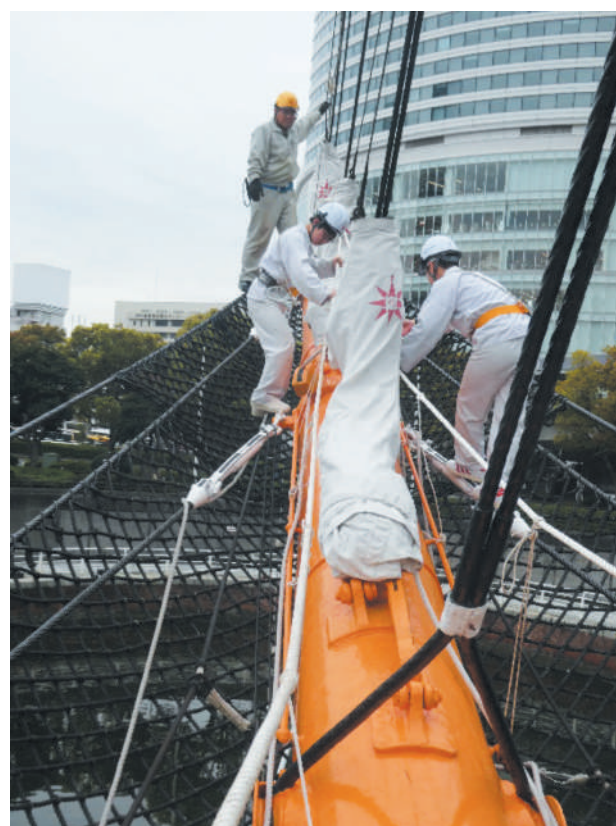
まず1つ目は佐々木先生のビジネスマナー講習だ。私は、ビジネスマナーは社会人として相手に失礼にならないよう、身につけるべきものだと考えていたが、佐々木先生は講義の中で、自分を守るためのものでもとおっしゃっていた。自分がしてしまった行動で相手に失礼になり、会社の不利益になってしまうかもしれない。そういったことにならないよう自分を守るためにもビジネスマナーの重要性を感じた。講習中では適切な敬語を使うことや電話対応の際に相手に5W4Hを意識して物事を伝えることが難しかったので、今後はそういった点に注意しながら仕事をしたいと思う。また、相手に良い印象を持ってもらうためにも、身だしなみに気をつけたい。

2つ目は、日本丸船長の話である。話の中で印象に残ったことは、「すぐやる」を意識するという話である。自分がやっていて長引きそうな仕事の途中で、すぐにできる簡単な仕事きたとき、どちらを優先すべきかという内容である。すぐにできる簡単な仕事を「すぐやる」ことで、達成感を得ることができ、物事がスムーズに進むようだ。私も「すぐやる」ことを意識して多くの達成感を得ながら仕事をしたいと思った。

最後に印象に残ったのはカッター訓練である。指導員の方が全員で息を合わせて早すぎることなく、遅れることなく船を漕ぐのが重要だとおっしゃっていた。これは会社での仕事にも通じることだと思った。仕事をこなすためには、自分ひとりの力だけでなく他の社員との協力が必要である。

この2日間で学んだことを活かし、会社での業務に取り組みたいと思う。

※5W4H：When, Where, Who, What, Why, How, How Much, How Many, How Long



海洋電子工業株式会社

(横浜市金沢団地協同組合)

田川 果歩さん

今回の令和6年度「新入社員合同研修」カリキュラムでは、雨雲がかかることもありましたが、両日晴天時の予定どおり行うことができました。そのため、登橋訓練やカッター訓練等のメインイベントとも呼べる訓練を体験することができ、貴重な時間を過ごしました。

私は大学の乗船実習で2代目の日本丸に乗船していたことがあったので、今回の研修で初代日本丸に

乗るという経験ができて良かったと思います。実習で乗っていた船との違いを自分の目で調べ、一夜を過ごすという貴重な機会に恵まれたことを嬉しく思います。また、実習中には経験できなかった登橋訓練は高所に登る緊張感と横浜の美しい景色を見渡す高揚感を満喫することができました。

ビジネスマナーに関する講義では、講師の佐々木様のパワフルで愛のあるご指導のもと、グループワークを通してビジネスにおけるマナーを学びました。言葉遣いや立ち振る舞いについては、慣れないことも多く、これからの社会人生活の中で失敗しながら学んでいくことが大切であり、失敗を恐れな

ようにという言葉が特に印象的でした。時には痛いところをつくような指摘もあり、反省点が多く見つけたので、改善していこうと思います。

日本丸船長の講話では、簡潔で心に響くお言葉が多く、ポイント毎にご自身の経験を交えてお話ししていただきました。特に「完璧にする必要はない」というメッセージが心に刺さりました。力を入れます

ぎてパンクしないように、学ぶ姿勢を持ちつつ柔軟に対応して会社の求める成果を出したいです。

今回の研修では同期との仲も深まり、とても楽しい時間を過ごすことができました。学んだ事を活かして頑張っていきたいです。貴重な機会を設けてくださりありがとうございました。

**三波工業株式会社**  
**(一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会)**  
**坂田 勇剛さん**

私がこの2日間の新入社員合同研修で学んだポイントがいくつかあります。

1つ目は、ビジネスマナーは武器になり、防御になるということです。社会人においてビジネスマナーというものは絶対に必要になってくるものです。お客様に気持ちよく商談をしてもらい、契約につなげていく「武器」であり、自分のことを悪い人や印象が良くない人だと思わせないための「防御」にもなるということをビジネスマナーを学びながら思いました。これから先、営業職の仕事をするようになった時にこの2日間のことを思い出して、ビジネスマナーを自分の武器、防御にしていきたいと思います。

2つ目は、チームワークの大切さです。私は1日目班の皆に推薦され、リーダーになりました。2日間チームでの行動が多く、常に責任を持って行動をしました。自分が責任感のある行動を取っていると班の人達も自分についてきてくれて、班での行動がスムーズに進められました。そこでこの経験を活かして仕事にも率先して行動し、近い将来後輩ができ



たときに安心してついていける先輩だと思ってもらえるような人になりたいと思います。また、上司の方からも責任感のある行動が見られるから仕事を任せられると思っていただけるような人にもなりたいと思います。

この2日間で得られたものは言葉では説明できないくらいの素晴らしい経験をさせていただくことができました。講師の佐々木先生をはじめ、日本丸の船長、船員の方々、工業会連合会の方々、そして同期の仲間達に支えられこの研修を終えることができました。色々な方々に感謝するとともにこれからの人生で辛いこと、苦しいことがあった時には今回あった楽しいこと、学んだことそして今回出会った同期の仲間達のことを思い出しながら、今後の社会人生活や普段の生活に活用していきたいと思います。2日間大変お世話になりました。





三波工業株式会社  
(一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会)  
田村 拓己さん

私は、この2日間の新入社員合同研修を経て、マナーや協調性、チャレンジ精神などの多くを学び、体験することができ、大変有意義で貴重であったと感じました。

マナー講習では、社会に出てまだ日が浅く社会の常識を知らない私に佐々木先生から社会のルール、マナーはもちろんのこと、社会人としての気持ちの持ち方、立ち姿勢まで様々なことを教えていただきました。先生のやってみせ、言い聞かせて、させてみて、誉めるという考えに基づいた講義は、耳にすっと入ってくるように理解しやすく様々なことを知ることができました。また、先生の講義でグループごとに活動することが多く、その過程で他会社の方々と交流もあり、同期としての仲を深めると同時に様々な意見、考えを交換することができ、広く視野をもつことの助けとなりました。



マストの登檣訓練、カッター訓練、甲板磨き、共同生活では、実際の船員の方々の業務内容を体験しつつ、協調性を育むことができました。弊社の会社の同期と仲を深めるのはもちろんのこと、他の会社の同期、日本丸のスタッフ、講師の方と普段はなかなかすることが難しい垣根を越えた会話をすることで知見が深まったように感じます。特にカッター訓練においては、協調性が重要であるということを強く実感しました。ボートを動かす際には、1人の力で動かすことはできず、皆で力を合わせる必要があります。皆の行動を見て合わせ、時には助けつつ時には自分で先導することが大切であると改めて感じました。

最後になりますが、この有意義で貴重な体験をさせていただきよう尽力して下さった会社の皆様、講師の方、日本丸のスタッフの方々に深く感謝を申し上げます。大変ありがとうございました。今回の経験を糧として、社会、会社のために活躍していきたいと思います。



株式会社ニットー  
(横浜市金沢団地協同組合)  
丸島 友寛さん

今回受講して、緊張したり分からないことがあったりすると恐れや不安で落ち着きがなくなってしまうヒゲ言葉が増え、言葉がつまってしまい、相手に迷惑をかけてしまう恐れがあるため、電話や話し方を練習していきたいと思いました。また、ビジネスマナーを武器にし、防御するために挨拶や話し言葉を正しく使用することが分かりました。

電話対応の講義では、メモを取る重要性和相手の話の聞き取り方が分かりました。また、できることを後回しにしないで、どんなに難しい事でもあきらめず取り組みたいと思います。そして少しでも仕事で不安な事や分からない事があったとしても、思い

込まないで上司や社員の方に相談したいと思います。

最後になりますが、研修会でお世話になりましたの方々にお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

※ヒゲ言葉：話すときに連発される不要な挿入語。「あの一」「えー」等。



## 林精鋼株式会社

(戸塚泉栄工業会)

### 亀山 彩乃さん

今回、1泊2日の研修を通じて、今後大切に覚えておきたい点がありました。

まず、ビジネスマナーの重要性です。ビジネスマナーは武器になり防御になる、とキーワードで学びました。印象を形成する基本的な5つの要素として、表情・身だしなみ・挨拶・姿勢・言葉遣いが挙げられていました。特に、挨拶と言葉遣いは、今まで生活していたよりも状況に応じて意識することが多いと感じました。そのため、これからの経験を通じて適応したいです。

また、電話対応や訪問することは、社会人になってから本格的に取り組むことです。意思疎通することだけではなく、声のトーンや基本マナーにも注意して行きたいです。

そして、報告・連絡・相談はどのような職種でも大切だと感じました。スムーズに業務を行うためにも、結果報告だけではなくて中間報告やミスをしてしまった際にも行うように意識を変えます。

また、船長のお話も印象に残っています。最低限守ることとして、時間を挙げていました。そして、すぐ行動に移して幸福や成功体験を得ること、物事を伝える際には結論先行で話すことを教えていただ

きました。理由や意見よりも結論ファーストで伝えることで簡潔でわかりやすくなるため、今後報告や相談をする際に心掛けようと感じました。

日本丸での訓練等は、直接業務に関連する事が多くはなかったですが、初対面の方と接する機会や仲間意識をもつ経験ができました。特に印象に残っている訓練がトップ台登橋です。登る際に声を掛ける必要がある作業でした。

相手に伝わらなければ、コミュニケーションは取れていないことだと教えていただきました。この事は日常でも同じなので、覚えておきたいです。

今回の経験をこれから続く社会人としての生活に活かすと共に、忘れずに心掛けて過ごしていきます。  
※トップ台：船の船首から前方に伸びている棒（バウスプリット）



## 新入社員合同研修会についてのアンケート 令和6年度 5社/8社 回答

### 1 今後もこの研修会を利用しますか

①利用する 5 ②利用しない 0 ③無回答 3

### 2 新入社員に研修を受けさせたことについて

①良かった 5 ②悪かった 0 ③無回答 3

### 3 研修内容について（複数回答OK）〇の数

①日本丸ならではの訓練が良い（マスト登り等） 5

②マナー研修が良い 3

③ロールプレイやグループ討議が良い 2

④日本丸の宿泊が良い 0

⑤他社の新入社員との交流が良い 2

⑥感想文に講師のコメントを付けて返されるところが良い 1

⑦記念写真や研修中の様子を撮影したCDをもらえるところが良い 0

### 4 宿泊について

①日本丸への1泊2日が良い 4

②2日間の通いの方が良い 1

理由（入社したばかりでの宿泊研修は本人の精神的な不安が高そう）

### 5 今後の参考とさせていただくために新入社員合同研修会に対するご意見・ご感想、期待すること等をぜひお聞かせください。

・マナー研修などだけだと他でやっている研修と同じになってしまうが、日本丸ならではの訓練がある事でこの研修を受けさせたいと考えている。

→市工連の研修は、様々な年齢の他社の新入社員とグループになって行うことも良いところだ。

・開催日程が早すぎる。4月10日前後にしてほしい。  
→毎年第1週目か2週目の木・金曜日で開催希望を出していますが、会場の予約状況によりご希望に添えず申し訳ございません。

・何事も経験するのが一番。グループ討議がいい。  
→登橋訓練やカッター訓練を楽しみにしている方が多いですが、電話対応や上司への話し方、報告の仕方などをグループで行っていく講義も充実しています。



# 令和5年度 新入社員フォローアップ研修



令和6年2月21日(水)に新入社員等若手社員フォローアップ研修を実施しました。この研修は、入社後を振り返り、自分の仕事の進め方を再認識するとともに、自分の強みや課題を客観的に認識し、前向きなマインドを構築するとともに他社の同年代の人たちと交流することを目的に開催しています。

## 【研修カリキュラム】

- <午前> ○入社後を振り返って自分の仕事の進め方を再認識する
- 自分の職場を振り返って仕事上の問題点や克服法を参加者で共有する
- <午後> ○クレーム対応の実践でビジネスマナーに基づく話し方の再認識する
- ハイポイントインタビューで自分の強み課題を客観的に認識する
- 前向きなマインドの構築のために、「信念を言葉化」する

研修後の交流会では、参加者みんなの意見が聞いて良かったという感想もあり、お互いの業務について話が弾んでいました。受講生の皆さんが、前向きなマインドを持って職場で活躍することを期待しています。

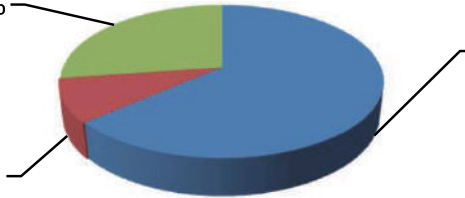
今回は5社7名の参加がありました。

## どんな成果があったと感じましたか（事後アンケートより）

これからの仕事への向き合い方を考える機会となった 27%

自分を見つめなおす機会になった 64%

他社の同世代の人と共感や交流ができ良かった 9%



## ◆ 会員情報交換 ◆



看板等も施工いたします

神奈川県屋外広告業登録 第1970号  
横浜市特例屋外広告業届出 第2471号

# 有限会社 双葉印刷所

〒236-0002  
横浜市金沢区鳥浜町2-13  
TEL 045-353-8531  
FAX 045-353-8534  
www.futaba-printing.co.jp



つなぎあひながくみらい  
金沢区活性化委員会



YOKOHAMA  
地域貢献企業



2019  
横浜健康経営



印刷 デザイン 製作

3Dスキャニング  
モデリング

屋外広告物  
デザイン施工

DM発送代行

# 令和6年度 横浜市予算に対する産業振興に関する要望についての回答

市工連では昨年秋、令和6年度の横浜市の予算編成に向けて、市内の産業振興を図るための政策提言及び要望をまとめ、要望書として提出しました。

このたび、横浜市から要望に対する回答がありました。重点要望の回答要旨のみ掲載しますので、全文については市工連のホームページをご覧ください。

## 【重点要望】

### I 操業環境の改善

#### 1 工業系地域活性化・安定した操業

##### (1) 住工共生への取組

###### 【回答】

- ・引き続き「ものづくり魅力向上助成金」による支援を実施していく。
- ・防音、防振、防臭対策など操業環境整備のための助成金は、令和3年度まで周辺環境及び近隣住民等へ配慮することを目的とした、騒音、振動及び臭気等を低減させる設備を対象とした助成金を実施していたが、申請実績がなかったことから、廃止した経緯がある。

### II 販路拡大

#### 1 横浜市の認定・認証制度

##### (1) 各認定・認証制度が連携した企業のブランド力を高める取組の推進及びインセンティブの拡充

###### 【回答】

- ・「横浜グランドスラム企業表彰」は、各制度とも取組がビジネスの場でも重要視される分野であり、表彰自体をPR材料と考えている。市としても、表彰制度を積極的にPRすることで、各制度や表彰の価値を高め、企業の皆様の評価向上につながるよう、プロモーション動画放映や市庁舎での展示等により周知に取り組む。
- ・認証事業者への支援については、現在、金融機関等と連携し、インセンティブの更なる拡充も含め、認証制度の積極的な活用に向けた意見交換・議論を行っている。

##### (2) 認定制度の周知

###### 【回答】

- ・市ウェブサイトで、「横浜グランドスラム企業表彰」の表彰要件である4つの認定・認証制度（「横浜型地域貢献企業」、「よこはまグッドバランス企業」、「横浜健康経営認証」、「横浜市

SDGs認証制度"Y-SDGs"）の制度概要及びメリットを一覧にして掲載する。

##### (3) 各種認定制度の充実

###### 【回答】

- ・「横浜グランドスラム企業表彰」の対象となる各認定・認証を維持するためには、制度ごとに継続の手続きを行う必要があり、事業者の事務負担が大きいことから、令和6年度より、各認定・認証において認定期間の延長や評価項目の整理等により、事務負担の軽減を図る。

### 2 公共事業発注の仕組み

#### (1) 地域貢献企業等へのインセンティブ発注

###### 【回答】

- ・「横浜型地域貢献企業」に対して、インセンティブ発注を実施している。インセンティブ発注の対象や発注件数については、入札の競争性の確保及び入札・契約状況等を踏まえ検討する。

### III 人材確保・育成

#### 1 人材確保・育成

##### (1) 人材確保のための仕組みづくり

###### 【回答】

- ・多くの求職者が登録しているサイト運営企業と連携し、ニーズの高い有料の人材採用サービスを少ない負担で利用できるようにすることで、企業と求職者とのマッチングを進め、市内中小企業の人材確保を支援する。

##### (2) ものづくりの楽しさのPR

###### 【回答】

- ・ものづくりの魅力や企業を紹介する取組については、引き続き「ものづくり魅力向上助成金」による支援を行うとともに、より活用しやすい助成金となるよう検討していく。

##### (3) 多様な人材の活用

###### 【回答】

- ・IDEC横浜のワンストップ経営相談窓口で相談



を受けるほか、多様で柔軟な働き方を推進するセミナーを開催し普及啓発に努めていく。

- ・市では、海外事務所が中心となり関係機関と連携し、日本に関心のある海外の大学生や留学生の市内企業での就労を促進する取組を進めている。その中で、海外の大学生や留学生を対象に、市内企業から事業内容や採用情報などを説明してもらうジョブフェア等を実施している。

#### IV ものづくりの活性化に対する支援

##### 1 事業承継支援の充実強化

###### 【回答】

- ・IDEC横浜による専門相談窓口での支援や訪問相談支援、金融機関等と連携した啓発セミナーや後継者・後継候補者に向けた育成講座「横浜次世代経営者塾」の開催、民間企業との連携によるインターネットを利用したM&Aマッチングサイトによる後継者不在企業への選択肢の提供、「神奈川県事業承継・引継ぎ支援センター」と連携したM&A支援など、市内中小企業の事業承継への取組を幅広く支援していく。
- ・「横浜市中企業融資制度」において、「事業承継資金」の信用保証料を助成し、事業承継に必

要な資金ニーズに対応している。

##### 2 中小企業の経営支援

###### (1) SDGsや省エネの取組、設備投資への支援

###### 【回答】

- ・市は、「ヨコハマSDGsデザインセンター」とも連携しながら、企業等の皆様に対し、SDGsに関する相談対応やマッチング支援のほか、連携によるプロジェクトの実施や広報等を通じて、SDGsの取組を支援している。
- ・「横浜市中企業融資制度」では、SDGsの達成に資する取組等を行う事業者を対象とする「SDGsよこはま資金」のほか、脱炭素化に向けて取り組む事業者を対象とする融資制度を創設（「カーボンニュートラル設備投資助成事業」として予算拡充）し、市が信用保証料を助成し支援する。

###### (2) 地域工業会支援

###### 【回答】

- ・「ものづくり魅力向上助成金」については、引き続き継続するとともに、より活用しやすい助成金となるよう検討していく。

自分色に染める!  
架装・パーツ 多数取扱い  
アースカラーパッケージ 展示中

ハイエースの  
架装パーツは  
お任せを!!

荷物を積みやすく  
床板張り  
できる漢の  
できる車!

耐久性・防水性UP  
ロンリウム貼り  
ご相談承ります

新ブランド  
415SAFARI  
登場!

ハイエースカスタムブランド  
取扱い商品は車検対応です

415COBRA

イベント  
お車情報  
発信中!

ワークピット横浜  
トヨタ正規ディーラー ウェインストヨタ神奈川のハイエース専門店

TEL.045-938-7022 店舗詳細は  
コチラ▶

横浜市都筑区池辺町4661 ららぽーと横浜近く 緑産業道路沿い

※写真はいメージです

# 地域工業会 事務局紹介

## ■横浜市金沢団地協同組合

横浜市金沢団地協同組合（以下、組合）は、横浜市による根岸湾埋立事業により金沢区の沿岸部に造成された鳥浜工業団地の組合として、昭和47年4月に設立され、現在組合員数140社、異業種が集積する県下有数の団地組合です。



事務局のある鳥浜振興会館の最寄り駅は、金沢シーサイドライン新杉田駅から2つ目の鳥浜駅で、近隣には横浜ベイサイドマリーナ・三井アウトレットパーク横浜ベイサイド、ランチ横浜南部市場があります。近年、産業の中心の工業団地エリアから大型商業施設（賑わい施設）を有する「LINKAI 横浜金沢」エリアとして発展しています。

理事長は前市工連会長、海洋電子工業株式会社代表取締役社長の榎本英雄さん、就任してから今年で18年目を迎えます。

組合活動の目的は、「団地の操業環境の維持」で

あり「心豊かな明るい団地作り」を方針として横浜市、県下の各種団体と緊密に連携して様々な事業を展開しています。

主な活動は、総務・労務改善・地域環境・施設運営、広報等があり、委員会を中心に活動しています。

特に、環境美化活動として19年間継続する鳥浜町のバス通り（1km）の歩道や事務所の隣の鳥浜公園に草花を植える活動及び月1回の一斉清掃が、横浜市から表彰をされるなど評価されています。

また工業団地の物流を担う国道357号線の渋滞緩和のために、理事長を中心に地域企業と団結して行政（国、県、市）



写真は事務局長の國場さん

及び関係企業への要望及び調整を実施し、交差点改良や渋滞の一因となっていたガソリンスタンドの移転を実現しました。

組合事務局員は2名（國場、鈴木）、組合の活動方針を実現するために、組合各企業と協力して業務にあたっています。

## ■鶴見区工業会

横浜市を定年退職、IDEC（横浜企業経営支援財団）に5年在籍後の就任です。当工業会は、会員の皆様の自主的活動が大変盛んです。鶴見駅に相鉄JR直通線を停車させる活動の事務局も担っています。会の発展と会員のお役に立てるよう努めてまいります。

【前事務局長の長嶺憲一郎様からの一言】

12年間お世話になりました。今後の会の発展を心よりご祈念申し上げます。



写真は新事務局長の平野さん

## 鶴見区工業会 事務所移転のお知らせ

鶴見区工業会は令和6年6月13日に移転しました。

〒230-0025 横浜市鶴見区市場大和町1-25 横浜信用金庫 市場支店4階  
（京急鶴見市場駅から徒歩約3分 国道15号線沿い）  
電話・FAX: (045) 504-2522（従前と同じで変更なし）



# 市工連からのお知らせ

## 横浜市就職サポートセンター事業 ～インターンシップ受入れ企業募集～

横浜市就職サポートセンターでは、採用意欲のある企業様と、再就職に意欲のある方との橋渡しを行っています。インターンシップを通して採用した人材は定着率が高いとのこと、是非ご活用ください。

インターンシップ受入れにご興味のある企業様は、ぜひ就職サポートセンターにご連絡ください。



就職サポートセンター 横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄岩崎学園ビル2F  
TEL 0120-957-139  
URL <https://wsy.city.yokohama.lg.jp>

## 技術者育成支援事業のお知らせ

市工連では、「技能士」となるための、技能検定の受検費用を負担した市工連会員企業に対し、受検手数料や受験前に受けた講習会の費用などについて補助しています。

今年度もこの「技能士」になるために受検費用等を負担した企業に対し補助いたします。

※「技能士」は、技能検定に合格した人に与えられる国家資格です。

前期・後期の申請が出そろった10月1日に受付を開始しますので、受験票の写しや、領収書の保管等をお願いいたします。

申請受付は、先着順です。申請締切は令和7年3月17日（月）ですが、予算に達した時点で募集を締め切ります。

お問合せ (一社)横浜市工業会連合会 TEL 045-671-7051



### ◆ 会員情報交換 ◆



# 日本保安工業株式会社

<https://www.nhk1390.com/>

# 横浜市経済局からのお知らせ

## ★脱炭素取組宣言が始まりました！

脱炭素化の取組に関する知識やノウハウ、資金などが不足しがちな、市内の中小企業の皆様の脱炭素化を進めるうえでの課題を解消することで、すべての中小企業の皆様が、市内で開催される万国博覧会「GREEN×EXPO2027」までに、脱炭素化に“着手”できるよう後押しする新たな取組を開始します。

スタート段階として、省エネを含む脱炭素化に取り組んでいることを本市の Web サイト上で宣言する“脱炭素取組宣言制度”を創設しました。

ぜひ宣言をして、横浜市と一緒に脱炭素化に取り組みましょう！

詳細は、横浜市 HP をご覧ください。

URL:<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/decarbonization/datsutansosengen.html>

※こちらの二次元コードから概ね3～5分程度で宣言できます。

### 脱炭素化に取り組むメリット

- \* 光熱水費などのコスト削減
- \* 企業価値の向上による取引先拡大、人材確保



横浜市 脱炭素取組宣言

検索

### 脱炭素取組宣言をすると…

- \* 「脱炭素取組宣言書」や「脱炭素宣言ロゴマーク」が使用できます！
- \* 「省エネ診断」を受診する費用を補助します！
- \* LED照明、空調設備などを導入する際の費用を補助します！
- \* 横浜市総合評価落札方式で加点されます！（今後予定）



### 脱炭素化とは…

気候変動の原因となっている二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を実質ゼロにしていくことです。

## ★省エネ診断補助金の募集を開始しました！

脱炭素宣言をした事業者の皆様が、脱炭素化に取り組む第一歩として、省エネ診断を受診する費用を補助します。省エネルギー診断を受診する際の費用を実質ゼロとし、脱炭素化に取り組む意欲のある企業の行動を後押しします。

### 横浜市省エネ診断補助金の概要

- ◆補助額上限:50,000円
- ◆補助率:10/10（※消費税及び地方消費税相当額は除く）
- ◆補助経費：経済産業省が実施する「中小企業に向けた省エネルギー拡充診断事業」における、省エネ診断受診費用のうち、事業者の皆様の自己負担額を補助

詳細・申請は、横浜市 HP をご覧ください。

URL:<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/decarbonization/shoenehojokin.html>

お問い合わせ先  
横浜市経済局 中小企業振興課  
TEL:045-671-4236 Mail:ke-sengen@city.yokohama.jp





# 日興テクノス株式会社

パソコン及び周辺機器／Ni+シリーズ(日興システム・サービス)／業務システム  
PBX・ビジネスフォン／電話・LAN配線工事／ネットワーク設計・構築／オフィスリニューアル



常に新しいテクノロジーを取り入れ  
お客様にご満足いただける製品とサービスをご提案致します。



〒235-0023 神奈川県横浜市磯子区森3-3-5  
TEL 045-761-2441 FAX 045-761-2600



2024  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
プライム500



## 株式会社 大協製作所



環境マネジメントシステムの国際規格  
ISO14001:2004 認証取得

株式会社大協製作所  
福島工場

### Synergy Technology

表面処理の「生産技術と人の調和」を基盤として品質目標の達成、  
並びに環境へ配慮した生産活動の改善に努め、  
お客様から信頼される製品とサービスを提供します。

本社・横浜工場 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町1125 TEL 045-351-1121 FAX 045-351-1105  
福島工場 福島県西白河郡矢吹町井戸尻489-1 TEL 0248-44-5817 FAX 0248-44-5888

大協製作所

検索





# 氷点下の 三ツ矢サイダー



**MITSUYA  
CIDER**

**-5.0℃**

**凍る直前マイナス5℃**

キンキンの冷たさ&シュワシュワな炭酸感を  
楽しめる三ツ矢サイダーです!

## フリージング現象※

マイナス5℃前後という温度帯をはじめとした一定の条件下において、  
キャップ開栓後、液体が徐々にシャーベット状に凍っていく  
フリージング現象が起こる場合があります。

※フリージング現象は、一定条件を満たさない場合や外気温等の環境によって起きない場合があります。

自動販売機の御用命は、下記まで宜しくお願い致します。

**アサヒ飲料販売株式会社 横浜北支店**

神奈川県横浜市  
港北区新羽町1150-1

**Tel 045-543-8181**

100年のワクワクと笑顔を。

**アサヒ飲料**